

平成24年度事業報告書

公益財団法人の移行認定を受けて初めての事業報告となりました。

幼児画・小学校児童画展助成及び顕彰事業

...・幼児対象

第18回福岡県幼児画展(主催 福岡県幼児造形教育研究会・西日本新聞社)は、福岡アジア美術館・交流ギャラリーで平成25年1月12日(土)から14日(月・祝)まで開催された。その事業開催に対する助成金として85万円を援助した。今回も特別賞(18点)特選(132点)入選(300点)の450点が展示された。14日には、表彰式が福岡アジア美術館・あじびホールであり、特別賞を受賞した子供や関係者の参加があった。なお、「福岡県知事賞」をはじめ、特別賞受賞者18名については、12月11日付西日本新聞紙上で掲載された。

応募総数は6,238点(116園)の作品が寄せられた。株式会社ふくやの協賛金を活用して、「子どもの造形活動は心の体操・頭の体操」をテーマに大阪成蹊短期大学児童教育学科教授の藪田一子氏の講演があった。一方会期中の来場者は、悪天候にも関わらず3日間で2,000人を超え、盛況に終了した。表彰式では、江口理事が賞状授与を行った。

...・小学校対象

- 1) 第61回福岡県小学校児童画作品展(主催 福岡県小学校図画工作教育研究会)に対し、活動推進助成のため第20回援助(総額90万円)を行い優秀な16校に松本文化芸術振興財団賞として賞状・ブロンズ盾(『若き飛翔』...高倉準一作)・筒を贈った。同作品展は、福岡市美術館市民ギャラリーで平成25年1月5日(土)から6日(日)まで開催され、5日には学校賞表彰式が福岡市美術館講堂で行われた。表彰式典では、宮崎常務理事が賞状授与を行った。応募総数約25万点の中から各地区で審査後、特選に選ばれた作品834点が展示された。「学校賞」受賞校の校長及び図画工作科担当先生・「特選」入賞児童及び家族それに一般客の来場者があり、2日間の入場者数4,600人を超えた。

2) 上記作品展の特選作品受賞者に記念品(受賞者各人の作品の特製写真5枚)を贈呈した。地区名を小学校名の前により判り易いようにつけ子どもたちの画に細心の注意をはらいながら仕分け・発送を行いました。今年には2件のクレームが発生した。

- 受賞者名簿のミスのため間違った小学校に届けられた。(筑後地区)
- 2名の同じ小学校の受賞者の分が配布途中行方不明となり再度発送をした。(北九州地区)

両クレームとも当財団の責任ではありませんが、今後ともより注意をはらいながら取り組みたいと思っています。

美術展事業：貸出管理運営事業

- 1) 平成23年度第17回福岡県幼児画展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行った。
- 2) 平成22年度第59回福岡県小学校児童画作品展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行った。
- 3) 絵画データベースシステムに平成23年度福岡県小学校児童画作品展特選作品(834点)と第17回福岡県幼児画展特別賞及び特選作品(150点)の文字情報入力を行った。
- 4) 福岡県小学校児童画作品展特選作品の映像入力は、撮影画像データ(高橋カメラ制作)を、又福岡県幼児画展の方は、当財団でデジタルカメラの画像撮影をした画像データを絵画データベースシステムに追加登録しました。
- 5) 福岡県小学校児童画作品展の特選作品貸出件数は10件で、貸出総数は435点であった。詳細は、平成24年度作品貸出利用状況で列記する。
- 6) 貸出管理サーバーのパソコン本体が完全にダウンしたため、新しい機器購入した。

美術展事業：インターネットこども美術館ふくおか事業

- 1) 正式に公益財団法人となったため、新しいホームページを立ち上げました。また、今回はスマートフォンの普及も考えスマホ対応の画面設定も考慮しております。

- 2) 新しいホームページでは、特選受賞者の個人情報保護条例・プライバシーの観点から大幅に改善し、より見やすい画面構成となっております。
- 3) 『インターネットこども美術館ふくおか』のホームページ掲載点数は、平成23年度の特選受賞者の画像及び情報追加更新を行いましたので、1万8,000点以上となっております。

当財団の活動は、子供たちが対象であるのでより個人情報・プライバシーに注意をはらいながら取り組んでいかなければならないと思っています。